

## 2015年度 第5回 学生マイクロ波回路設計試作コンテスト選奨規定

2015年9月5日 学生コンテスト実行委員会

「学生マイクロ波回路設計試作コンテスト」はマイクロ波研究専門委員会が主催する学生参加のイベントです。本企画はマイクロ波工学分野に関わる電子情報通信学会学生会員の増強に寄与し、産学連携を強化・促進するものです。選奨を伴う企画であるので、以下の通り選奨規定を定めます。

### ○審査の対象

原則として、代表者を電子情報通信学会員にもつ大学等研究室に所属する学生とする。審査対象となった学生すなわち参加者には、電子情報通信学会入会を奨励する。

### ○審査の方法

マイクロ波研究専門委員会委員から審査委員を募り、審査委員会を組織する。各審査委員は、別途定める審査項目について参加者全員の出品物に対する審査を行う。ただし、審査委員と所属機関を同じくする参加者に対しては、審査を行わない。

### ○賞の選定

審査委員会は前審査委員の審査結果に基づき、別途定める方法により評価点を算出する。各賞は下記基準により候補者を選定し、審査委員長の決により受賞者を決定する。他に表彰すべき作品があった場合は審査委員長の判断により、別途特別賞を授与することができる。

表彰部門	競技部門		
	低損失部門	小形化部門	50dB減衰部門
最優秀賞	1位	1位	1位
(優秀賞)	(2位)	(2位)	(2位)
特別賞	件数未定		

### <最優秀賞>

#### 1. 低損失部門

通過帯域の挿入損失(最大値)が最も小さい作品に与える。

挿入損失が同じ場合はサイズ(面積)が小さい方に与える。

## 2. 小形化部門

コネクタを除く面積(たて×よこ)が最も小さい作品に与える。  
面積が同じ場合は挿入損失が小さい方に与える。

## 3. 50dB減衰部門

減衰帯域の減衰量(最小値)が低域側、高域側とも50dBに最も近似する作品、すなわち以下の判定式の値が0dBに最も近似する作品に与える。

$$\text{判定式} = |\text{Att1}-\text{Att2}| + |\text{Att1}-50[\text{dB}]| + |\text{Att2}-50[\text{dB}]|$$

Att1: 低域側減衰量の最小値

Att2: 高域側減衰量の最小値

判定式の値が同じ場合は挿入損失が小さい方に与える。  
なお、50[dB]は絶対減衰量です。(挿入損失との相対差ではありません)

### <優秀賞>

各競技部門の参加者数と作品の出来栄等を考慮して、2位の作品が優秀と評価できる場合に与える。

### <特別賞>

すべての競技部門を総合的に評価して優秀な作品、または審査委員長の判断で価値を認めた作品に与える。

- ※入賞した作品には賞状と賞金を授与します。
- ※仕様を満足した作品には合格証を授与します。
- ※特別賞は仕様を満足しない作品も対象とします。
- ※特別賞は他の賞と重複受賞することはありません。

### ○賞の贈呈

最優秀賞、優秀賞、特別賞は、各部門ごとにそれぞれ1件程度とし、各賞の受賞者にはマイクロ波研究専門委員会委員長名の賞状を授与する。なお、副賞として最優秀賞には金 20,000 円(非課税)、優秀賞と特別賞には金 15,000 円(非課税)をそれぞれ贈呈する。

以 上